

## 2025 年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会  
会長 國分 晃



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。2025年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。

昨年 2024 年の食品流通業界は、値上げ浸透による改善効果の継続や、昨年来のコロナ収束に伴う人流回復といった外部環境の変化もあり、上半期においては比較的順調に推移してきましたが、下期に入り消費減退の進行や人手不足に伴う人件費・物流費の高騰などが顕著となり、食品流通各社にとって決して楽観の出来ない状況となっております。

その様な状況の中で、本年 2025 年は昨年に引き続き急速に進むコスト上昇に耐える企業体質を構築すると同時に適正な価格転嫁を継続し、賃金と物価の好循環を実現しデフレ経済からの完全な脱却を遂げる年であります。そのためには流通各層が互いに連携し、効率的で強固なサプライチェーンを築くことが必要です。当協会といたしましても、重点テーマである「持続可能な物流の構築」及び「サプライチェーン全体を繋ぐデータ基盤の構築」に引き続き注力すると共に、SDGs の根幹ともなる様々な環境問題についても主体的に関与してまいります。特に物流問題は昨年 4 月よりトラックドライバーの時間外労働規制が始まり、本年 4 月からは改正物流効率化法の運用が開始されます。物流課題は製配販が協力して取り組まなければならない喫緊の課題です。食品流通全体をサステナブルなものにするために、避けて通れないこれらサプライチェーン全体のテーマに積極的に取り組み、課題解決に向けた役割を果たしていく所存です。皆さまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたしますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。